

President

何のためにこの会社があるのかを常に意識する。
そうすれば壁にぶつかった時、
どこに向かうべきなのかが自ずと分かります。



Purpose

化学技術で
より良い生活環境の実現に
貢献し続ける

パーパスに込めた想い

チャレンジ精神を受け継ぎ、無くてはならないものを提供する

Vision 2030とサステナビリティ経営

私たちISKグループは、長期ビジョン「Vision 2030」で、サステナビリティ経営に舵を切りました。

いま、世界は、異常気象などの気候変動や、食料危機など、大きな課題に直面しています。これらの解決に向けて、国連でSDGsという目標も定められました。私たちもグローバル社会の一員として、この活動に賛同し、参画していくことで、将来の豊かな社会の実現に、事業を通じて貢献したいと考えています。

そこで、私たちが存在する意義、われわれは何のために存在するのかを、改めてパーパスとして決めました。

創業者の想いとパーパス

ISKグループの創業者である石原廣一郎は、日本の、社会の役に立つ事業を、との想いで、数々の事業を手掛けました。途中、戦争や政治の影響を受けながらも不屈の精神で立ち上がり、新たな道を探し続け、現在の当社の無機化学事業、有機化学事業の礎を築きました。

「化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける」

このパーパスこそ、石原のチャレンジ精神を受け継いだ私たちの存在意義です。

私たちは、暮らしに無くてはならないものを社会に提供しています。農業は、今後も増加する地球の人口の食を支えることに大きく貢献するものです。酸化チタンは、鮮やかな色彩のある心豊かな生活に欠かせません。また、PC、スマホ、自動運転、そして電気自動車など、今後ますます広く用いられるコンデンサ、ここに使用されるチタン酸バリウムも無くてはならないものです。

私たちの強みは、独自の化学技術力、技術開発力です。キラリと光るオンリーワンの技術を持っています。それらを活かし、社会の皆さんが求める価値や製品をお届けすること、無ければ新たに生み出すこと、これが私たちの生きる道です。

化学技術で、世の中の課題を解決し、より良い生活環境を実現していく。私たちの存在意義はここにありま。私たちは事業活動を行う上で、このパーパスを全ての基本としています。

Vision 2030

独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。

Stage I
FY2021-2023

Stage II
FY2024-2026

Stage III
FY2027-2029

ISKグループ
の
マテリアリティ

企業理念

基本 理念

「社会」、「生命」、「環境」に貢献する
株主、顧客・取引先、地域社会、従業員を大切にする
遵法精神を重んじ、透明な経営を行う

行動 基準

- ・社会から信頼される事業活動を行うため、社会規範、法令、会社の諸規定を遵守し、高い倫理観と良識をもって行動する。
- ・ものづくりに際しては、地球環境との調和を図り、常に安全確保に万全を期し、無事故・無災害に努める。
- ・相互協力、相互理解により人権を尊重し、風通しのよい働きやすい職場をつくる。
- ・企業活動の透明性を保つため、企業市民としてコミュニケーションを重視し、企業情報を適時、的確に開示する。

パーパス

Purpose

化学技術で
より良い生活環境の実現に
貢献し続ける

石原産業とは

- 01 インタロダクション
- 03 目次
- 04 2022 Business in Brief

価値創造の戦略

- 07 トップメッセージ
- 11 Vision 2030
- 12 Vision 2030 Stage I の進捗
- 13 財務本部長メッセージ
- 特集 ものづくりへのこだわり
 - 15 四日市工場
 - 18 農業事業
- 20 価値創造プロセス
- 21 インプット／アウトプット
- 23 財務・非財務ハイライト
- 25 マテリアリティ

事業別概況

- 27 無機化学事業
- 29 有機化学事業(農業)
- 31 有機化学事業(ヘルスケア)

価値創造の基盤

- 32 ステークホルダー・エンゲージメント
- 34 役員一覧
- 36 新任社外役員インタビュー
- 38 コーポレート・ガバナンス
- 43 リスクマネジメント
- 45 コンプライアンス
- 特集 新生石原産業の信頼回復への道のり
 - 47 レスポンシブル・ケア活動
 - 48 環境
 - 53 社会
 - 62 パーパス浸透の取り組み

コーポレート・データ

- 63 財務・非財務サマリー
- 65 連結財務諸表
- 69 石原産業のあゆみ
- 70 会社概要・グループ拠点
- 71 株式情報
- 72 編集方針



トップメッセージ

未来の事業のあるべき姿を考えていく

有機化学事業が順調に収益を伸ばす一方で、無機化学事業は原燃料価格の高騰などにより苦戦しており、当社事業の在り方を見直す時期にきています。ただ、当社は課題こそあれ、地力・体力のある会社です。「パーパス」を軸に向かうべき方向を定め、最大の強みである技術力を活かして、暮らしをより良くする製品を世界に送り出し続けます。

特集 ものづくりへのこだわり



市場が求めるものをきちんと造ることがメーカーの責務

当社無機化学事業の主力生産拠点・四日市工場。1941年の設立以来、長年にわたり当社の“ものづくり”を支えています。この工場ではいま、どんなことにこだわり、何に取り組んでいるのか。総指揮者の新名芳行工場長に聞きました。



海外委託製造を中心としたものづくり

当社は兵庫県小野市に「有機生産技術研究所（仮称以下、小野研究所）」を新設します。ものづくり技術の進化を通じ、世界一の低コスト製造と安定供給を目指すためです。小野研究所の立ち上げに取り組む、バイオサイエンス事業本部の3名に、その狙いや将来の夢を聞きました。

ISKグループが変える毎日の暮らし

石原産業は「化学」の会社です。「化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける」というパーパスのもと、酸化チタンを使った塗料や機能性材料、有機化合物による農薬や動物用医薬品などの製品を通じ、世界に快適さ、便利さ、健やかさを届けています。

もっと快適

快適な住環境

住宅や自動車など、さまざまな用途に適した高品質な酸化チタン塗料へのニーズはますます高まっています。石原産業は、近赤外線を反射する遮熱材料や、セルフクリーニング機能を持つ光触媒材料などの高付加価値製品で、住まいをより快適にします。



酸化チタン「TIPAQUE®」

塗料の原材料としてさまざまな場面で活躍



もっと便利

革新的な生活製品

コンデンサなどの材料となる高純度酸化チタン、99%以上の光を吸収する漆黒材料、高い光屈折率と透明性を実現した高屈折材料などでITデバイスの進化を支え、暮らしをより便利にします。



高純度酸化チタン

電子部品材料として情報社会を支える



Inorganic Chemistry

無機化学事業

もっと優しく

エコフレンドリーな製品

乾かすと熱を蓄え、水を掛けると放熱する全く新しい蓄熱材「ハスクレイ®」。工場などの除湿、暖房、乾燥工程に使えば、燃料を燃やして熱を得るのに比べCO₂排出量を大きく減らせます。

ハスクレイ®を利用した未利用低温廃熱の再利用サイクル



もっと健やか

農作物の供給力安定

石原産業は、化学農薬のバイオニア。国内外にさまざまな農薬製品を販売し、食を通じて世界の人々の健康と生命を守り、暮らしをより健やかにします。



除草剤、殺菌剤、殺虫剤を主とした農薬製品のラインナップ

世界の人々の食に貢献



もっと幸せ

生活の質 (QOL) の向上

大切なパートナーであるペットの健康を守る動物用医薬品、毎日に彩りを添える青色コチョウランなどを通じ、暮らしをより幸せで華やかにします。

Organic Chemistry

有機化学事業



動物用医薬品「ブレンダ®」

大切なコンパニオンアニマルの健康を守る

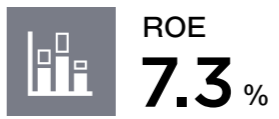


世界初の青色コチョウラン「Blue Gene® (ブルージーン)」

色褪せない特別な彩りを



Key Figures 2023年3月期



Europe

欧州

売上高 **194** 億円



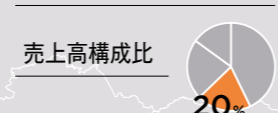
拠点数 **2** 拠点



Asia

アジア

売上高 **265** 億円



拠点数 **8** 拠点



Japan

日本

売上高 **563** 億円



拠点数 **8** 拠点



Americas

米州

売上高 **284** 億円



拠点数 **10** 拠点



Others

その他

売上高 **4** 億円



※各区分に属する主要な国または地域
 アジア 中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド
 米州 米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
 欧州 ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧および中東地域
 その他 オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

※主要な製品のピクトグラム(各地域で売上規模の大きい製品を拡大表示)

